

別れと出会い「独去独來」



教育委員 菅原 誓之

春めいた季節に入り、卒業式・入学式のシーズンとなりました。今年の各学校では、弟子屈小学校(28名)・川湯小学校(6名)・和琴小学校(1名)・美留和小学校(4名)・弟子屈中学校(38名)・川湯中学校(10名)【教育委員会発表】が卒業します。

また、入学式は弟子屈小学校(14名)・川湯小学校(3名)・和琴小学校(3名)・美留和小学校(2名)・弟子屈中学校(30名)・川湯中学校(6名)【教育委員会発表】の新生活が始まります。

少なくとも上記の人数には、それぞれの別れがあり、新たな出会いがあるはずでず。卒業してもすぐに入学式で会えることもあれば、進学によって弟子屈から離れ、しばらく会うことができない別れもあります。それぞれの夢や希望を胸に、自信を持って歩まれることを願っています。

ここからは私の私見としてお読みください。東日本大震災から15年という報道がされています。2011年3月11日には、多くの永遠の別れがありました。私も読経ボランティアとして赴きましたが、遺体安置所でたくさんの棺が並ぶ光景が忘れられません。ただその後、岩手県宮古市赤前小学校で子どもたちとの出会いがあり、4回ほど伺い、ボランティア活動をさせていただきました。当時の校長先生は、子どもたちに北海道弟子屈町の位置を地図で説明し、こんなに遠くから来てくれていると教えてくださったそうです。その後、校長先生・担当教員・仮設住宅自治会長が、自分たちもその道のりを経験したいと、寄せ書きを持って弟子屈を訪ねてくれました。悲しい別れもありますが、うれしい出会いもあるものです。

(写真は当時の寄せ書きです)

表題の「独去独來」とは釈尊の言葉で「独生独死・独去独來」が語源です。『人間は一人で生まれて、一人で死んでゆく、一人で来て、一人で去ってゆく』という意味です。だからこそ、人とのつながりを大切にしたいものです。



No. 44

2026/4

発行／弟子屈町教育委員会
 教育長 岩原 勝行
 教育長職務代理者 金井 秀明
 委員 菅原 誓之
 委員 吉田 一徳
 委員 宮田 昇子

もうすぐ1年生

教育長 岩原 勝行



3月21日、認定こども園ましゅうの卒園式が行われました。

今年卒園したのは18名。晴れ着姿も凛々しく、名前を呼ばれると大きな声で返事をし、園長先生から卒園証書を受け取ると、その後、

両親へ感謝の言葉を述べていました。

4月からは、町内のそれぞれの小学校でピカピカの1年生になります。小学校では、多くの兄さん、お姉さんが待っています。

たくさん勉強や運動をして、大きく、たくましく成長してくれることを願っています。

釧路管内市町村教育委員会教育委員研修会に参加して

教育長職務代理者 金井 秀明

令和7年度釧路管内市町村教育委員会教育委員研修会が令和8年2月に釧路市内で開催されました。釧路管内の教育長、教育委員が一堂に会して当面する教育の諸課題について研修を行い、併せて参加者が情報交換を行うことが目的で、今回は42名が参加しました。

北海道教育庁釧路教育局の駒津和康教育支援課長から「釧路の未来の創り手の育成とウェルビーイングの向上を目指して」と題した講演、北海道大学大学院教育学研究院の加藤弘通教授からは「不登校で分かっていること、できそうなこと」というテーマで動画視聴があり、大変有意義でした。特に加藤教授の話で「中1ギャップといわれる時期、不登校の児童は適応の変化（教師との関係、友達、勉強）などにより不登校傾向の関係要因が下がる傾向にある。中1は、やり直しのチャンスでもある。不登校は難しいが、やれることはまだありそう」という言葉が心に残りました。

大切な準備体操

教育委員 菅原 誓之

先日プライベートで旅行に行きました。

そのホテルには珍しく卓球台があり、久しぶりに娘と対戦することに。試合も終盤になり、お互い力が入り熱戦となりました。その時、私のところに絶好の球が…。右足を踏み込んでフルスイングのスマッシュを…。すると、右足から「パン！」という音が聞こえました。瞬間に「アキレス腱をやった」と思いました。

病院受診の結果、靭帯損傷とのこと。

あらためて、準備体操の大切さに気付かされた一日となりました。



少年団演奏会

教育委員 吉田 一徳

2月22日に弟子屈小学校吹奏楽少年団の定期演奏会が開催され、多くの方が素敵な演奏に耳を傾けていました。曲目の途中には、弟子屈小学校の佐藤義行校長先生指揮による演奏もあり、思わぬサプライズゲストに聴衆の顔がほころびました。

演奏会では団員による演奏のほかに、弟子屈中学校や弟子屈高校の吹奏楽部の演奏、全員での合同演奏もあり、私もエキストラとして演奏に参加することができ、とても楽しい時間を過ごせました。

この演奏会で6年生が引退すると、わずかな団員しか残りません。新年度、新しい団員を迎え入れて、また素晴らしい音楽を奏でていただきたいと思います。



スポーツ発展に寄与した方を表彰

教育委員 宮田 昇子

町教育委員会では、スポーツ競技会で優れた成績を収めた個人・団体や、スポーツ振興に貢献した方々を表彰しています。今年度はスポーツ賞を今川航太さん（水泳で全道中体連優勝）、村上楓さん（ソフトテニスで全道高体連団体優勝）、I & Mバトンスタジオの皆さん（全国大会優勝）、佐々木敏行さん（全日本柔術選手権優勝）、スポーツ奨励賞を櫻岡凜音さん（全道小学生陸上競技大会2位）、小泉颯葉さん（柔道で全道中体連3位）、弟子屈クッシーズの皆さん（全道小学生バレーボール大会3位）、スポーツ功労賞を摩周歩くスキーと山の会の丸山勉さんが受賞しました。

日々のたゆまぬ努力に敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待しています。



例年この時期、卒業式にお邪魔させていただいています。学校ごとに特徴があり、いつも感動をいただき「いい式だったなあ」と温かい気持ちで会場を後にしています。毎年思うことなのですが、卒業生代表による答辞が素晴らしいです。学校生活の思い出、家族や仲間、先生方への感謝などが、その子ならではの言葉で紡がれていて、充実した学校生活を送ってこれたのだなと嬉しくなります。加えて、校長先生から「うちの子どもたちは、どこに出しても恥ずかしくないです」との言葉を聞くことができ、教育活動に敬意と感謝の念を抱きました。

新たな旅立ちを迎えた皆さん、おめでとうございます。希望に満ちた春に、心からのエールを送ります。（宮田）

編集後記